

女子高生殴られけが

岡山 登校中2件、同一犯か

1人骨折

岡山市の岡山西署管内で8月末と9月中旬、登校中の女子高生が見知らぬ男に顔を殴られ骨折などする事件が計2件発生している。同署は、被害者の証言や犯行状況などから同一犯によるものとして傷害容疑で調べている。

の路上でも信号待ちしていた別の生徒の顔を殴りつけ、軽傷を負わせて逃げた。

急ぐなど捜査を進めている。

被害者の証言から男は50〜60歳で、身長は165〜175センチ。帽子とマスク姿で、15日は上下紺色のかっぱを着て銀色の自転車に乗っていたという。

被害者は2人とも「男と面識がない」と話しており、同署は「無差別に襲った可能性が高い」とみている。パトロールを強化するとともに、現場周辺の防犯カメラの映像解析を

同署によると、8月

被害者は2人とも

31日朝、同市北区西長瀬の路上で信号待ちの女子高生に男が突然、素手で殴りかかり、鼻の骨を折るけがを負わせて逃走。さらに9月15日朝、同西古松西町

「男と面識がない」と話しており、同署は「無差別に襲った可能性が高い」とみている。パトロールを強化するとともに、現場周辺の防犯カメラの映像解析を